

稲門フィラテリー

2024 年 6 月 1 日発行

第 9 2 号

<http://post-stamp.org/wasephila.html>



切手収集、折々の人

井上武志

今は故人になった収集家について、思いつくままに書いてみました。

1 高馬邦夫さん

新橋のサンフィラの代表でした。切手研の OB で、教育学部の卒業です。お人柄で、どれだけの後進がお世話になったかわかりません。新卒



高馬邦夫さん

で入った会社は山陽特殊製鋼でしたが、戦後最大の大型倒産になりました。退職して切手屋を開業、私（井上）にアルバイトをしてくれないか、との葉書が来ました。昭和 45 年ころです。私は都合がつかなかったので、切手研同期の猪狩真樹夫君を推薦しました。これでサンフィラの体制が決まりました。



1981 年ウィーン国際切手展でインターナショナルグランプリを受賞し審査員から祝福を受ける石川良並氏(左から二人目)

このサンフィラに目をつけたのが、帝産オートの石川良並さんです。高馬さんから経営権を譲りうけ、高馬さんは雇われ社長となり、石川さんのコレクションの充実も仕事の一つになりました。

石川さんは、相互銀行の会長でしたので、資金は潤沢にありました。アメリカのクラシックの名品を買い集め、立派な本も刊行しました。

今は、高馬さんも石川さんも故人となり、サンフィラもなく、相互銀行も倒産、アメリカの名品は債権者の手にわたり、世界中に拡散



高馬邦夫さんの著作

してしまいました。猪狩君の消息が不明ですが、サンフィラで職場結婚した奥さんとどこかに元気だと思っています。

2 中村伸郎さん

有名な新劇文学座の俳優さんです。岩下志麻主演の松竹映画「秋刀魚の味」（昭和 37 年）で拝見しました。小津作品の常連で「東京物語」にも出ています。この方が切手収集家でした。市田サロンのメンバーで、手彫切手では相当なレベルです。朱二銭のエラー発見の事情をお訊きしましたら、とても喜んでいました。あるときオークションで予想以上に落札してしまい、奥様に頭を下げたそうです。奥様は笑って出してくれたそうですが、「よそに子どもでも出来て、お金が必要ということかと思った」というほど真剣だったそうです。切手道楽はいつの時代でも、奥方には苦勞しますね。



中村伸郎さん(前列左)

3 畑中厚さん

銀座の高速道路の下で、奥様とファインスタンプを経営していました。顔がこわい方という印象でした。あるとき、私のアルバイト先の切手屋の親父から、「お客から、久米島切手を 5 万円で買ってくれと言われたがどうだ？」と聞かれました。裏に、墨で書き込みがあるというのでホンモノと確信、買取りを勧めました。正月の伊勢丹の大切手市に出品することになり、畑中社長に見ていただきました。親切な方で、「私も大分扱いましたが、これは本物です」と太鼓判を押してくれました。私が 20 万円の値段をつけました。買値の 4 倍、私のアルバイト代が、1 日 1500 円の時代です。初日に、切手評論家の平岩道夫さんが来て、1 割引の 18 万円で無事お買い上げになりました。私の 100 日分のアルバイト代が出ました。

畑中社長は奥様ととても仲が良く、奥様が急逝すると 3 か月も経たないうちに亡くなりました。かなり気落ちしていた

そうです。息子（現社長）はまだ中学生で、毎年早稲田祭の切手展に仲間 5、6 人を連れて来て、安切手を買ってくれました。

4 福井和雄さん

早稲田ではなく、大郵連の会合でよくお会いしました。当時は切手よりも政治的な活動をする方で、学生運動をやったあとと新聞社に入り、晩年は日本郵趣協会の理事長を長くつとめました。慶応大学郵研の村岡安廣さん（佐賀県の和菓子屋の社長）と、大郵連の活動について議論されていました。渡辺勝正さん（OX さん）の美人の奥さんが 高橋スタンプでアルバイトをされていましたが、福井さんは即売会でよくからかっていました。

佐賀の村岡安廣さんは、昨年佐賀で開かれた「大隈祭」に地元の主賓として出席され、早稲田佐賀中高生の演技をご覧になりました。開国前後のスタンプレスカバーの収集でも超一流の方です。



福井和雄さん
(2017 年)

5 田辺猛さん

切手タレントの第一号です。「モウさん」とよばれていました。切手と酒が好きすぎて、生涯独身を通しました。サンフィラの顧問で、時々ご高説を拝聴しました。あるとき、南方占領地ビルマの



田辺猛さんの著作

「矢野切手」について、矢野氏が終戦後帰国されて製造（？）されたニセモノがあるとの見解を披瀝されました

「矢野切手」に押された判子は矢野静雄氏の実印なので、帰国時に持帰り、戦後も使用されたと思われます。しかしながら、収集家をだます目的でニセ切手を製造するには無理があります。理由は、紙が違うからで、騙される人はいないはずです。ただし、矢野静雄氏に無関係の模造品は、市場に多く出回っています。

モウさんの長年のコレクションは、お酒に化けてしまいました。サンフィラも結局出禁になりましたが、幸せな人生だったと思います。

■ 「思い出のコレクター」エピソード募集■

「稲門フィラテリー」では、みなさまの思い出に残るコレクターについてエピソードを募集いたします。ぜひお気軽にお寄せください。（編集子）

小平市有形文化財“旧小平小川郵便局”

磯野昭彦

私が小平に自宅を新築することを決めた理由は磯野家の墓が都立小平霊園にあったからである。自転車で墓参りできる楽しみが夢だった。

昭和 48(1973)年秋、小平で新築生活が始まった。青梅街道を自転車で小平霊園に向かっているときレトロ風な木造の郵便局に出会った。局前のポストはもちろん丸ポスト。

交通量の激しい青梅街道に面して古風の郵便局である。局名表示はでっかく手書きの「小平小川郵便局」、その横には古めいた鉄板にサビがでていた営業案内板がぶら下がっていた。特筆は電話・電信が郵便局の営業項目であった。



写真2 営業案内板

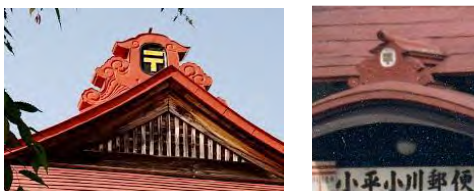


写真3 鬼瓦の〒マーク



写真1 青梅街道に面した旧小平小川郵便局（1982年撮影）

思わず自転車から降り、道路の反対側からひっきりなしに行き交う車の間隙を見計らって写真を撮影した。

家に帰って改めてその写真をよく見て驚いた。屋根の鬼瓦に郵便マーク「〒」が刻まれていた。しかも2ヶ所に異なるデザインであった。

更に局舎施設について詳しく調べて見たところ次のようなことがわかった。

- ・建物は明治 41（1908）年建築の和風木造平屋建築
- ・延床面積：128.88 平方メートル
- ・赤茶瓦屋根は鉄板平茅葺入母屋造
- ・窓には防犯用鉄格子
- ・この建物は地元の名主、小川家が自宅を改造して郵便局舎にしたと言われる
- ・昭和初期には電話交換業務も行っていたという



東京小平小川局
閉局最終日風景印

その後、小平小川郵便局は隣接して新局舎を建て平成 27 年 3 月 20 日廃局、取扱業務はブリジストン前局に引継がれた。なお、旧



写真 5 保存された旧小平小川郵便局
局舎内部

局舎の解体工事

は平成 2 年 7 月からであった。

しかし、小平市はこの局舎は歴史的価値が高いとして、昭和 58

年 3 月 31 日付で小平市指定有形文化財第 1 号に指定すると共に、小平ふるさと村に移築保存した。そして「旧小平小川郵便局局舎」という名称を付した。



小平小川局新局舎



写真 4 保存された旧小平小川郵便局局舎

付記：「小平ふるさと村」について

小平ふるさと村では江戸初期から明治時代以降の小平にあった近代の建物を保管・復元し見学できるよう展示しています。また、これら建物は青梅街道以外の東西に走る街道沿いにも多くあったそうです。完

自然風景切手から考える

小川 義博

はじめに

10年前、本誌51号にオーストリア切手を取り上げ雑文を書いた。美しい自然環境に恵まれながら自然風景より建築物が切手になることが圧倒的に多く、しかも自然風景だけの切手はほとんどなく、わずかな自然風景切手にも人の手が加わった家屋、柵等が描かれており、何とも言えない違和感を覚えた。



やっと見つけた自然景観だけの切手



自然風景になぜ建物、柵が描かれているか考えさせた切手
オーストリア切手



建物、市街風景切手のなかどうにか見つけた
自然風景を描くドイツ切手



スイス
国立公園

その後、ドイツ、フランスの切手を整理し、さらにこの違和感を強くした。ドイツは10年前であるが写実的な自然風景は絵画切手にわずか1種のみで都市風景、建築物、産業構造物切

手が非常に多い。フランスは少し異なり、自然風景切手は見られるが、都市風景、建築物を描く切手が8倍ほど見られる。スイス、スウェーデンは自然風景と生活、余暇、建物、自然の恵みを組み合わせて描いた切手が多く、我が国のように自然のみを中心に描く切手は目立たない。



自然に親しみ楽しむ意匠を描く
スウェーデン国立公園切手

このようなことが10年を経過した現在でも見られるか、合わせて隣国の韓国、中国についてこれら5ヶ国と違いがみられるか検討し、東西での自然観が切手に反映していないか検討出来ればと考えた。

まずは、日本の自然を描く切手を整理した。

日本切手に描かれた自然

自然風景を描いた切手は数多くあり、整理するのが煩雑であるので観光、旅をテーマに発行されたものを除き国立公園、国定公園、山岳切手シリーズを中心に整理した。3

シリーズで 93 件、241 種 (国立公園 45 件、107 種 国定公園 41 件、74 種 山岳シリーズ 6 件、60 種) であった。世界初の国立公園切手のアメリカ・イエローストーン国立公園に遅れること 2 年の 1936 年に我国の国



4 色で統一された国立公園

印刷会報会員は下記でカラー確認ください

<http://post-stamp.org/ogawaimg/nationalpark4color.pdf>



アメリカ 1936 年発行
国立公園切手 2 種と
普通切手等に描かれた
国立公園



立公園切手は発行されている。当初から観光を意識した発行であろうか、戦前戦後を通じ 1952 年まで 1 件 4 種で、計 14 件 56 種の切手が UPU 規約に従い国内用 2 種は茶、緑、海外用の高額料額 2 種は赤、青で印刷されている (左記画像)。このような発行は他に見られない。さらに、これらの国立公園切手に限ってみても 17 年間に 54 種類発行という頻度は他の国に見られないものであることに注目される。最初の国立公園切手発行国アメリカでさえ 1934 年に 10 種発行された以降現在まで単発的な発行で約 50 種の発行に止まっている。

このように海外向け PR を意識してスタートしたと考えたい自然風景切手。描かれている対象にどのようなものがあるか整理した。人間、動植物、家屋、建造物、舟等が全体の約 30% に自然風景の中に描かれている。3 つシリーズで国定公園切手の約 60% に自然風景と自然以外のものが描かれており、国



人の姿、舟、動物、住宅、市街等が60%の切手に
自然風景に加えられている国立公園切手

けられなかったのが、まだ建築物の切手が多いものの過去に比べれば多くの自然風景の切手が国立公園切手を中心に独特の描写手法で発行される変化がおきている。フランスは自然風景より建築物切手が圧倒的に多いが印刷・色彩、自然描写に変化がみられる。スイスも過去のデザイン化された単色の切手ではなく、歴史は古く1914年に設立された国立公園が最近になってようやく美しい切手となり発行されている。スウェーデンは人間が自然に親しみ、楽しむ存在であることを風景描写に含んでいると感じる切手を多色カラーで発行している。このように最近10年の

立公園、山岳シリーズとは異なる自然のとらえ方がされている。また、自然のなかに人間、神社関連施設が国立公園に描かれていたことが注意されたが、全体としてヨーロッパ切手の自然風景とは雰囲気ややはり異なっていた。

最近10年の

ヨーロッパ切手の自然風景

最近の発行を各国別にネットで調べてみた。オーストリアは建築物切手が多いこと、自然美観シリーズ切手にも人工物、動物などが描かれており大きな変化は見られなかったが、建築切手が圧倒的に多かった普通切手に自然風景切手がカラーで発行されるという変化が見られた。ドイツは10年前には絵画切手に描かれた自然しか見つ



オーストリア2020年代に発行された国立公園普通切手 日本とは自然の切り口が異なるようだ



2000年以降発行されたドイツ国立公園切手
日本とは異なる自然の切り口を感じさせる



2000年以降やや増えたフランス自然風景切手
他に見られない意匠で自然を描いている



自然の恵み、自然の楽しみ、自然保護と他国と
異なる自然の価値を訴えるスウェーデン国立公園切手



自然保護と観光を目的と理解できる
自然情景を描写したスイスの国立公園切手

5ヶ国の自然風景切手の発行は以前と比べると多くなり色彩も豊かになってきたと感じるが、同時に自然風景切手より動植物切手の発行が我が国より多く特に昆虫を描く切手が多いことなどから直接的に自然自体でなく自然環境保護・生物保護を訴える意識を切手発行に感じる。

中国、韓国切手の自然風景

西欧5ヶ国を検討し、アジア、特に隣国の韓国、中国で自然風景切手がどのように発行されているかを調べ、東西で切手発行に差があるのかを少しでも調べられればと考えた。

この20年、韓国切手は年平均66種、(SD19.8)の発行と我国から見ると落ち着いた羨ましい発行状況であり、シール切手も



染料植物シリーズ

薬用植物シリーズ

韓国の蘭シリーズ



鉄道車両シリーズ



伝統文化シリーズ

古木・歴史樹シリーズ

少ないという、私のような高齢収集家にとっては懐かしい姿である。発行内容も過去見られた政治的、軍事的な切手は少なくなり、デザイン、印刷も見違えるような切手が多く、我国よりはるかに魅力を感じる切

手が多いようである。記念切手は一昔前の日本切手のようで身近な事項の記念する切手が多く親しみが持て、シリーズ切手には独自の切り口のシリーズが見られ、韓国蘭



韓国の河川シリーズ 四季

シリーズ、染料植物シリーズ、古木・歴史的樹木シリーズ、伝統文化歴史シリーズ等が興味を持たせた。鉄道シリーズには機関車だけでなく貨物車両、線路点検車両が加わり我国の機関車

中心のシリーズと異なり、鉄道への理解を深めるものになっている。自然風景では国立公園は見つけられなかったが、山岳シリーズ、河川シリーズ、湖シリーズ等に分類し、さらに四季を加味したものも発行しており、我国と異なる形での発行がみられる。次頁のように自然風景に建物等を入れたものは少なく、我国と同じく今回対象の欧州5ヶ国とはやはり異なっていると考えたい。このことを植物相、地形の似て



韓国の湖シリーズ



韓国の山岳シリーズ



韓国の名所シリーズ



中国の自然風景を描写した切手



最近の我国の風景切手

横長よりも縦長切手が圧倒的に多く発行されている

いることだけからとばかりは考え難い。更に、資料が乏しいが中国に目を移すと左下のように横長に自然をパノラマ描写した美しい切手、動植物保護を同時に訴える切手などが発行されている。これらを見ても西欧の切手より日本、韓国の自然描写に近い感じを受ける。我田引水と叱られると思うがやはり自然の切手への描写に東西で差があり、自然観の相違を感じとれるか。

韓国、中国の自然風景切手を目にして両国とも横長切手が多いのに対して、我国の最近の自然描写切手を見ると逆に下記のように縦長切手が多くなっている。縦長の画面に自然風景を描写することの是非も検討されてしかるべきであろう。この問題は記念切手にも見られ、最近では鉄道、航空関係の記念切手に見られる程度である。

最後に我国の自然風景切手に人が描かれていることが注意された。国定公園切手以外に国立公園切手にも下記のように見られたが、今回、他

の国には見られなかった。



風景の中に入れた切手は我国以外には極めて少ない

墨東郵趣連合春のつどい

池澤克就

稲門フィラテリーも友好団体として名を連ねている関東郵趣連盟では所属団体のメンバーが集まる集いを定期的開催しています。去る 2024 年 5 月 6 日（月）に令和 6 年墨東郵趣連合春の集いが、浅草の台東区民会館（都立産業貿易センター台東館 8 階）で開催されましたので、参加してきました。

出席者は関東各地の郵趣団体を中心に総勢 42 名。参加者が持ち寄った自慢の 4 リーフによる人気投票「4 リーフ展」をはじめ、チャリティオークション、フロアオークション、盆回し交換会が行われました。

墨東郵趣連合の事務局を担当されている葛飾郵趣会の宮鍋会員が司会進行役を務め、また稲門フィラテリー所属メンバーとしては諸田会員、小林彰会員も出席していました。

普段なかなか会えないコレクターとも交流でき楽しいひと時でした。気になっ



司会進行を務めた宮鍋会員



墨東郵趣連合春の集い（浅草）



（左から）筆者・宮鍋会員・諸田会員

たのは、やはり若者が少ないという現実で、これは私がイベントの企画運営に関わっている公益財団法人日本郵趣協会も同様ですが、郵趣を楽しむ次の世代をいかに育てるかが最大の課題であると再認識した次第です。郵趣を長年趣味として楽しみ、生活の潤いとしてきた我々が、その楽しさを若い世代に向けてもっとアピールできると良いですね。会員諸氏のアイデアなどあればぜひお寄せください。

■いよいよ郵便料金も値上げ

さまざまな物価の値上がりが続いていますが、今秋、ついに郵便料金も値上げされます。第一種（はがき）は 63 円から 85 円に、第二種（封書）は 84 円から 110 円に値上げとなります。普通切手のデザインも一新されると思います。次号発行の折にはデザインも明らかになっていることでしょう。手元にある 63 円や 84 円切手は使えなくなるわけではありませんが、1 枚貼りでは記念押印にも活用できなくなるので、在庫は早めに使い切っておいた方がよさそうですね。

■皆様からの一言をお寄せください

今月は懐かしいコレクターの思い出を寄稿いただきました。引き続き皆様からも一言コメントを募集致しますのでぜひ寄稿ください。

- (1)切手収集を始めたころの思い出
- (2)切手を集めて良かったこと
- (3)切手収集に関わる失敗談
- (4)切手から生まれた交友関係
- (5)コレクションの終活について
- (6)思い出の一枚(画像があればぜひ)

いずれかのテーマ単独でもかまいませんので、青柳宛(tsuaho@green.ocn.ne.jp)にお気軽にメールでお寄せ下さい。

■2024 年度総会予定

今年度の総会は、例年通り早稲田大学のホームカミングデーと稲門祭が予定されている 10 月 20 日（日）に開催したいと考えています。詳細は次号にてご案内できるかと思いますが、早めに日程の調整をお願いいたします。

■京都の茶色いポスト

先日訪問した京都中央郵便局の前に茶色のちょっと変わったポストを見つけました。投函口の下に「平安建都 1200 年記念」というプレートが貼られています。

1994 年に設置されたものでしょう。ポストの上には何やらキャラクターが。これは平安時代の壺装束を纏った建都 1200 年キャラクター「京のぞみ」だそうです。



◇編集後記◇

いよいよ梅雨入りのニュースを聞くようになりました。切手には大敵の季節です。皆様の湿気対策は万全でしょうか。お肌のシミではなく、切手のシミ対策も忘れずに梅雨を乗り切りたいですね。

発行日：2024 年 6 月 1 日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：池澤克就

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。